

2020年11月11日

## 「パナソニック環境ビジョン2050」当社初(※1)の CO<sub>2</sub>ゼロショールーム(※2)をパナソニックセンター東京で実現



パナソニック株式会社は、コーポレートショールームであるパナソニックセンター東京(所在地:東京都江東区有明3-5-1、以下PC東京)において、カーボンニュートラルの取り組みを推進し、このたび非製造拠点として当社初となるCO<sub>2</sub>ゼロショールームを実現しました。

当社は、環境経営における長期ビジョン「パナソニック環境ビジョン2050」を2017年6月に策定し、「より良い暮らし」と「持続可能な地球環境」の両立に向け、クリーンなエネルギーでより良く快適にさせる社会を目指すという、2050年に向けた環境経営のありたい姿を明確に定めて活動を推進しています。その活動の一つである「持続可能な社会を目指した事業推進」として、工場の操業においてCO<sub>2</sub>を排出しない「CO<sub>2</sub>ゼロの工場づくり」にグローバルで取り組んでいます。2019年度までに4拠点(6工場)がCO<sub>2</sub>ゼロ工場を実現しており、今回、この取り組みを、CO<sub>2</sub>ゼロのショールームに広げ、PC東京が当社初の拠点となりました。

具体的には、PC東京において、省エネ設備の導入などによる継続的な省エネ活動と、拠点活動の運営改革(セミナー等のオンライン化、在宅勤務推奨などの働き方改革等)などにより、2020年度は前年度比約10%(※3)のCO<sub>2</sub>排出削減を見込んでいます。そして、100%再生可能エネルギー由来電力の調達と、化石燃料由来CO<sub>2</sub>の排出をオフセットするクレジットの活用により、CO<sub>2</sub>ゼロショールームを実現しました。また、エネルギーを創り出す際にCO<sub>2</sub>を排出しないことで注目される水素の利活用拠点として、当社が開発する純水素型燃料電池の実証運転を開始します。クリーンなエネルギーで安心してらせる将来の水素社会の実現に向けて、発電した電力と熱の有効活用を目指していきます。

さらに、PC東京では、ショールーム活動のオンライン化や、働き方改革を積極的に推進することによって、ショールーム来場者および従業員の移動時の公共交通機関の利用を低減し、社会におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減にも努めています。

また、2020年11月25日(水)～28日(土)の期間、オンラインで開催される国内最大級の環境展示会「エコプロOnline 2020」において、初日となる11月25日(水)に、当社の「パナソニック環境ビジョン2050」におけるカーボンニュートラルの取り組みの一環として、今回のPC東京の具体的な取り組みを中心に紹介する、鼎談形式のライブ配信イベントを開催します。

当社は、これらの取り組みを今後グローバルに展開することで、「パナソニック環境ビジョン2050」が目指す、持続可能な社会を目指したCO<sub>2</sub>を排出しないモノづくりを着実に推進してまいります。

- ※1. 国内外における、当社グループ非製造拠点において、2020年11月現在  
CO<sub>2</sub>ゼロシウルームを実現したことにより、削減されるPC東京のCO<sub>2</sub>排出量は、約1,114 tCO<sub>2</sub>
- ※2. 省エネ推進や再生可能エネルギー導入、クレジットの活用などにより、CO<sub>2</sub>排出を実質的にゼロとしたシウルーム
- ※3. PC東京のCO<sub>2</sub>排出量について：  
【2019年度】約1,114 tCO<sub>2</sub>、【2020年度（実績+見込み）】約1,000 tCO<sub>2</sub>

## <PC東京のCO<sub>2</sub>ゼロシウルーム実現にむけた具体的な取り組みについて>

### 【1】省エネ設備の導入などによる、継続的な省エネ活動の実施

- LED照明：施設全体の約60%に導入（導入時期：2018～2019年）
- 遮熱フィルム：施設全体の約80%に導入（導入時期：2019～2020年）

### 【2】全調達電力を100%再生可能エネルギー由来電力へ切り替え

- 非化石燃料由来エネルギーであるバイオマス発電電力へ100%切り替えを実施

### 【3】化石燃料由来CO<sub>2</sub>の排出をオフセットするJ-クレジット制度を活用

- 臨海副都心エリアの地域熱供給によるCO<sub>2</sub>排出を、J-クレジット制度の活用でカーボン・オフセット

### 【4】拠点活動の運営改革によるCO<sub>2</sub>排出量の削減

- セミナー・イベント等のオンライン化、バーチャルシウルームコンテンツの公開（上記取り組みにより、会場の空調・照明の使用を低減）

### 【5】従業員の働き方改革によるCO<sub>2</sub>排出量の削減

- 在宅勤務推奨などの働き方改革による出勤者数の削減  
（上記取り組みにより、オフィスや館内施設の空調・照明等の稼働率を低減）

### 【6】クリーンなエネルギーとして注目される水素で発電する純水素型燃料電池の実証運転

- 当社製純水素型燃料電池の導入によるクリーンなエネルギー創出（2021年1月稼働予定）

## ■<エコプロonline2020イベント情報>

**Panasonic**

パナソニックSDGsセミナー **SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

# 『カーボンニュートラル』の取り組み



**楠本 正治**  
パナソニック株式会社 経理・総務本部 福岡経営推進部 部長



**池之内 章**  
パナソニック株式会社 企画・戦略本部 スペースエイジェンシー パナソニックセンター東京 部長



**神保 重紀氏**  
日経 BP 総合研究所 主席研究員

2020年  
**11月25日(水)**  
11:00-11:45

パナソニックSDGsセミナー「カーボンニュートラルの取り組み」

パナソニックは、SDGs達成に向けた当社の取り組みについて、社外の有識者やパートナーと共に語るオンラインセミナーを、9月より継続して開催しています。

今回はその第三回目として、パナソニック環境ビジョン2050の概要や、PC東京のCO<sub>2</sub>ゼロ拠点化の具体的な取り組み、そしてカーボンニュートラルの実現に向けたパネルディスカッションを予定しています。

【日時】2020年11月25日(水) 11:00~11:45

【参加】<http://panasonicseminar1125.peatix.com/>より参加登録をお願いいたします。

【対象】どなたでも参加可能です。

【内容】

- ・イントロダクション
- ・パナソニック「環境ビジョン2050」の取り組み
- ・PC東京「CO<sub>2</sub>ゼロ拠点化」の取り組み
- ・パネルディスカッション –カーボンニュートラルの実現を目指して
- ・質疑応答

【登壇者】

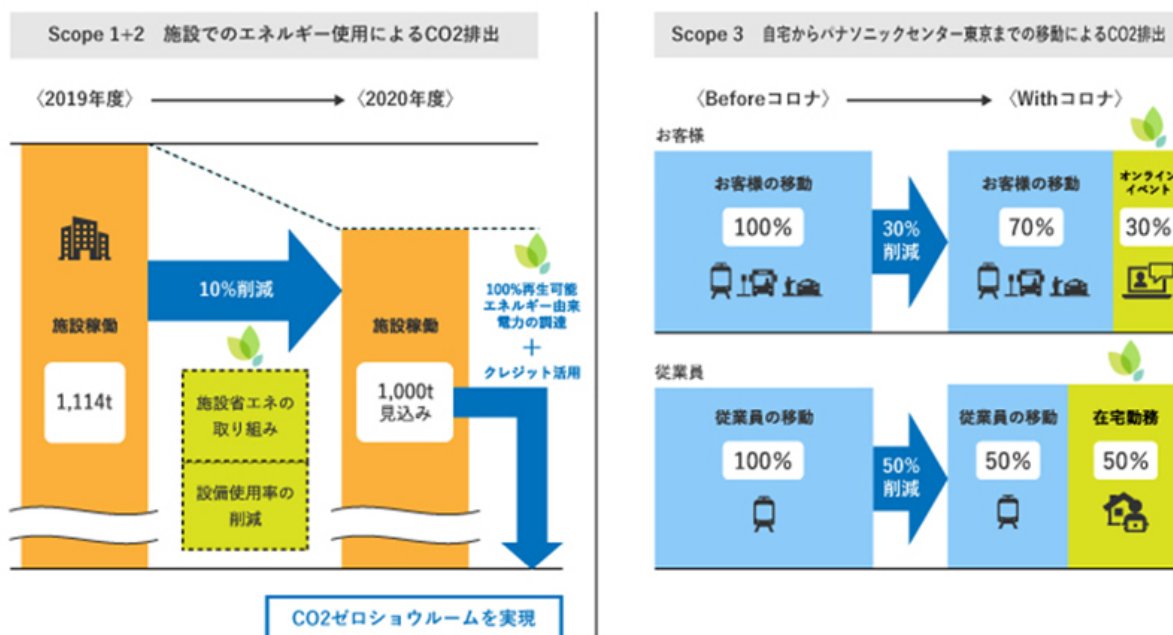
楠本 正治 (パナソニック株式会社 品質・環境本部 環境経営推進部 部長)

池之内 章 (パナソニック株式会社 ブランド戦略本部 スペースクリエイツ部 パナソニックセンター東京所長)

【モデレーター】

神保 重紀 氏 (日経BP 総合研究所 主席研究員)

## <PC東京の省エネ・運営改革・働き方改革によるCO<sub>2</sub>削減の考え方>



## <パナソニックセンター東京 施設概要>

地面積	15,846.49平方メートル(約4,800坪)
延床面積	15,788.65平方メートル(約4,800坪)※2004年10月5日改装
展示面積(1/2/3階)	3,247平方メートル(約984坪)
建物棟数	2棟(本棟、別棟)
フロア数	本棟 地上4階、別棟(有明スタジオ)地上2階
起工	2001年3月19日
オープン	2002年9月14日
営業時間	火曜日～日曜日 10時00分～17時00分(※休館日:月曜日)
入場料	無料
所在地	〒135-0063 東京都江東区有明3丁目5番1号
アクセス	・りんかい線「国際展示場駅」徒歩2分 ・新交通ゆりかもめ「有明駅」徒歩3分

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。